

42歳になりました!



福山市立大学研究生で学び直し!! **連載**



記事詳細は  
こちらから

# 村上 栄二です。

研究生  
村上栄二の /

## 研究課題

## 広島県の西高東低を是正する。 真の福山市のあるべき姿を考察する。

**【研究理由・目的】**  
 広島県民として福山市に住むと西高東低の意識は根強い。広島市はスポーツ平和推進、工業、商業、観光都市として様々な都市としての顔を持つ。福山市においては工業都市として顔を持つ。今後、少子高齢化社会に突入し、人口・経済規模が縮小傾向にある中で他の産業を基盤として都市格の顔を持つ事は残念ながら難しい。工業都市としての産業ツーリズムや新幹線も四月より「みずほ」が新しく停車する。工業都市(製造業)である福山市は出張客をターゲットに絞る事。さらに運輸業、郵便業が突出して高いが一方で情報通信業・金融・保険業は著しく低い。

二〇一〇年頃まで福山市は人口が社会減傾向にあったが、二〇一二年以降は増え続けている。以上の事からもわかるように、特徴として仕事がある街から仕事を選ぶことが出来る街づく

りを目指すべきである。今後、工業のお仕事もA-I-O-T化により女性も選択される時代になる可能性もあるし、在宅のお仕事としても対応できる可能性もある。これまでの常識である製造業・運輸業・郵便業に関して女性が働きたくなる環境づくりと同時に後継者不在率73%という広島県産業の大きな課題も直面している。

**【目指すべき豊かさはモノや量ではなく、選択肢がある福山市】**  
 福山市には十八の上場企業と十三工業団地があり、これまでの産業のイノベーションを図りつつ新しい工業都市へと発展していく道を一つ考えていきたい。

更にもう一歩進めていくと先だって、国は公立病院二六五二院のうち四二四病院再編を二〇一九月までに各地域で協

議して国に報告しなければならぬ。これは言い換えてみたら今後、これらの地域医療に関して国は特別な補助制度を設けないと宣言している事に他ならない。想定される事として、全国二六の都市で連携中枢都市があり、福山市は全国で一番に都市圏ビジョンを公表し名乗りを挙げている。今後、国が思い描くコンパクトシティの流れは連携中枢都市としての機能化は避けられない。単なる近隣との都市間競争ではない新しい自治体の在り方を目指すなければならない。

**【研究の取り組み方】**  
 本研究では、上記の研究背景や目的について、福山市を事例として、都市経営課題や方向性の検討・提案に取り組むこととする。具体的には、人口変

**村上 栄二プロフィール**

りじょう幼稚園、福山市立新涯小学校、福山市立誠之中学校、私立近畿大学附属高等学校福山校近畿大学法学部経営法学科を卒業。大学卒業後、有限会社DC開発研究所にて代表取締役のほか、大阪市会議員(1期)を務める。2015年6月からは「地元へ恩返しをしたい」想いで福山に戻る。広島県議会議員。

化とI-O-T、5Gなどの情報技術革新と共に福山市の将来像を整理していかなければならない。

さらに現在福山市の県内指標で財政力指数23都市中4位、経常収支比率2位、実質公債費率2位、将来負担比率は0%一位である。

ここで難しいのは市民サービスが落ちる連携中枢都市となると住民感情は反発する。新しい都市圏の在り方を国の動向を含めて考えていく必要がある。

賃貸マンション、月極駐車場  
「空き」あります!

# Consort homes

お問合せ  
 有限会社 DC 開発研究所  
 ☎ 084-927-1185  
 〒720-0052 広島県福山市東町2-3-2